【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成31年2月19日
【会社名】	ヒューマン・アソシエイツ・ホールディングス株式会社
【英訳名】	HUMAN ASSOCIATES HOLDINGS, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 渡部 昭彦
【本店の所在の場所】	東京都港区芝五丁目33番7号
【電話番号】	03-5765-2231
【事務連絡者氏名】	取締役CFO 古屋 雄一郎
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝五丁目33番7号
【電話番号】	03-5765-2231
【事務連絡者氏名】	取締役CFO 古屋 雄一郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1. 減損損失について

(1) 当該事象の発生年月日

平成31年2月14日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

当社の連結子会社Optia Partners株式会社において、事業計画に対する進捗状況や今後の累積見通しを踏まえて検討した結果、同社株式取得時に計上したのれん未償却残高の金額66百万円を、平成31年3月期第3四半期連結累計期間で減損処理を行い特別損失として計上することといたしました。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成31年3月期第3四半期連結累計期間において、下記のとおり減損損失を特別損失として計上いたしました。

（連結） 減損損失 66百万円

（個別） 影響ありません。

2. 関係会社株式評価損について

(1) 当該事象の発生年月日

平成31年2月14日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

「1. 減損損失について」に伴い、平成31年3月期第3四半期累計期間の個別決算において、関係会社株式評価損165百万円を特別損失として計上することといたしました。

なお、個別決算で計上した特別損失は連結決算では消去され、「1. 減損損失について」に記載する特別損失が連結業績への影響額となります。

(3) 当該事象の損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成31年3月期第3四半期累計期間において、下記のとおり関係会社株式評価損を特別損失として計上いたしました。

（連結） 影響ありません。

（個別） 関係会社株式評価損 165百万円

3. 受取補償金及び移転費用について

(1) 当該事象の発生年月日

平成31年2月14日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

当社は、平成31年3月期において本社移転を行い、平成31年4月1日より新本社にて営業を開始することとなりました。これに伴い、現本社ビル（東京都港区）の貸主より、中途解約に伴う補償金が支払われることとなったため、平成31年3月期において、受取補償金として特別利益302百万円を計上する見通しとなりました。

また、上記移転に伴い、平成31年3月期累計期間において、移転費用として特別損失15百万円を計上する見通しとなりました。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成31年3月期累計期間において、下記のとおり受取補償金を特別利益として、移転費用を特別損失としてそれぞれ計上いたします。

（連結） 受取補償金 302百万円

（個別） 受取補償金 302百万円、移転費用 15百万円

以上